



10月6日(日)「高川山ハイキング」に出かけました。高川山は、山梨県大月市にあります。最寄り駅は、JR中央本線初狩駅、もしくは、富士急行線田野倉駅か禾生駅になります。今回のルートは、初狩駅からの山頂往復ルートです。歩行時間3時間30分と気軽に、紅葉の始まりの風景を楽しもうというプランでした。

初狩駅に予定通り8時53分到着し、ゆっくり歩き始めました。そして、予定通りに山頂に到着してみれば、なんと10時45分！季節的にもとても歩きやすく、気持ちのよい森林浴気分で登ることができたというわけです。山頂は、すでに多くのハイカーで賑わっていて、早い昼食を摂っていました。山頂の展望はすばらしく360度のパノラマです。残念なことに、晴れてはいたのですが、富士山はかすんで見ることはできませんでした。

早い昼食を摂り、出発することにしますが、もの足りない！今登って来た道を下るのでは、つまらない！ちょっと冒険して、田野倉駅に下りることにしました。山栗を拾いながら下山しているうちに、だんだん秋の味覚(収穫)に冒されていきます。山を下りても民家の栗や柿が気になって、さらに欲しくて…。もっとも採ったりはしませんでした。初秋のさわやかハイキングでした。



津村さん、お久しぶり！

10月6日(日)JR八王子駅、町田が横浜線を降りると津村明彦さん、津村美穂子さん夫妻が待っていました。お互い「お久しぶりです」津村夫妻は、今年春の「関東シルクロード」に参加し、お会いするのは2度目です。二人でゆっくりウルトラマラソンを楽しんでいます。しゃべっているところへ小野さんが登場。加藤さんも宮部さんも今回は参加できないと連絡がありましたから、こんなものかな？と思っていると桜井さんが現れました。6名で出かけるハイキングです。

高尾駅8時始発の甲府行き普通電車に乗るためには、八王子駅7時52分の高尾行きに乗り換え間に合いますが、これだとぎりぎりです。乗換えたとすぐに発車するので、まず座ることはできません。そこで、7時37分の高尾行きに乗ります。高尾駅で、あわただしい河口湖行き電車との連絡がありますが、これを見送って、甲府行きの電車に乗り込みました。



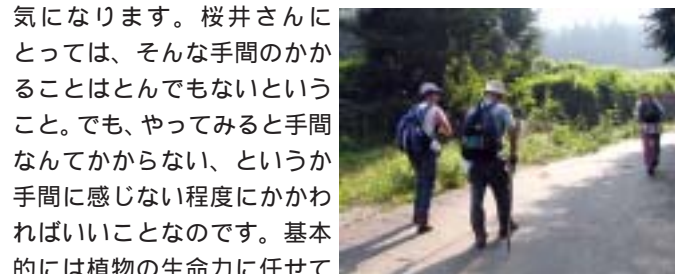
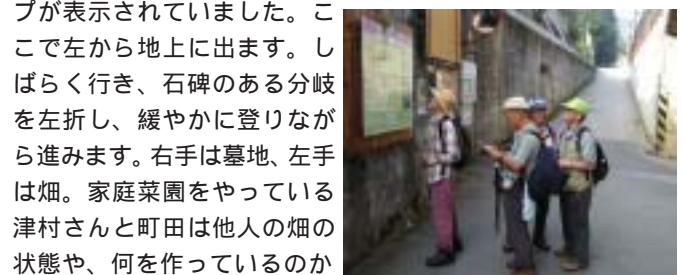
大月駅100周年記念オレンジカード

初狩駅は、大月駅のひとつ先になります。座席に座ってうとうとしていると到着するという感じでしょうか。8時53分初狩駅で降ります。ホームから改札へは、線路を横断するのですが、駅員が二人もいて誘導しています。なんだか贅沢な...(?) 改札を出ると「大月駅・猿橋駅100周年」の表示があり、そのイベントのひとつがこの駅で行われるということらしい。「何があるのですか?」「車両の展示です」その車両はこれから移動してくるらしい。記念オレンジカードの販売もしているようだが、その販売にはあまり積極的ではなさそう。津村美穂子さんは「商売っ気がないわねえ。私が売ってあげようかしら」と、椅子に座って「いかがですか〜。大月駅100周年記念オレンジカードは、こちらで販売していま〜す」旦那の明彦さんは、奥さんの行動とは関係なく、「記念」とか「限定」という言葉に弱いらしく、改札でこの記念オレンジカードを購入していました。



速い女性陣 お願い休ませて！

9時過ぎ、歩き始めます。駅を背に右方向に進み、中央本線をガードでくぐります。くぐった正面に高川山のハイキングマップが表示されていました。ここで左から地上に出ます。しばらく行き、石碑のある分岐を左折し、緩やかに登りながら進みます。右手は墓地、左手は畑。家庭菜園をやっている津村さんと町田は他人の畑の状態や、何を作っているのか気になります。桜井さんにとっては、そんな手間のかかることはとんでもないということ。でも、やってみると手間なんてかからない、というか手間に感じない程度にかかわればいいことなのです。基本的には植物の生命力に任せて



放ったらかし、たまに修正して、収穫があったら食べてみる、こんなスタンスで楽しんでいるのです。やがて舗装路が砂利道



に変わりしっとりとした緑の中を歩いて行くと、左折を指示する標識があります。ここが登山道入口です。女性2名は歩くのが速く、すでにこの標識で左折し、山の中に入って行きました。男性3名がゆっくり追います。



ここから勾配が急になります。駅を出発して30分くらい、汗も出て来たこと、そろそろ一休みしたいところです。しかし、元気な女性陣はどんどん登って行ってしまいます。別の女性ハイカーのグループが休憩していました。ますます休憩したくな



ります。そこから少し登った場所で二人が待っていました。男性陣の到着と同時に歩き出そうとするので、それを押さえて一休み。9時45分でした。休憩しながら、津村さんからシソジュース（シソドリンク）の作り方を教えてもらいます。詳細は、間違えるといけませんので、来年の春、赤ジソを育て、収穫できた時にもう一度教えて下さい。

桜井さん、松がきれい！

休憩を終えて、5分ほどで「男坂・女坂の分岐」に着きます。ガイドブック通り、左の男坂を登ります。まわりの景色は、針葉樹林から広葉樹に変わって行きます。それと同時に、うっそうとした雰囲気から、陽が当たるさわやかな感じになって来ました。勾配はさらに急になり、ところどころにロープが付けられていますが、これを手に取るほどではありません。赤松の林が現れた場所が、展望が少し開けていて、町田は、先を歩いていた桜井さんと呼び止め「桜井さん、松がきれい！」と写真を撮ると、後方で津村（美穂子）さんが「松（のほう）がきれいなんて失礼ね（笑）」松の枝の間からささやかな展望を楽しみながら



ちょっと休めます。このあたりまで上ると、ほんの少しですが紅葉が始まっています。緑の中に、黄色や赤い部分を見つけるとなんだかうれしいような気分です。“秋をみつけた！”

こんなに早く着いちゃった

10時45分、高川山の山頂に到着。まあまあの広さの山頂にはすでに多くのハイカーが陣取っていました。“それにしても、こんなに早く着いちゃってどうしよう。ここで少し休んで11時に出発したら、12時30分には初狩駅に着いてしまいます。それじゃあ意味がない！早いけれどここで昼食にしよう。そして、富士急行線の田野倉駅に降りよう。”それをみんなに告げると小野さんが田野倉駅への地図とガイドブックのコピーを渡してくれました。田野倉駅までは1時間30分で下ることが出来ます。同じような時間を歩くなら、違う場所で違う景色を楽しんだほうが面白いよね。

場所を決めてお弁当をひろげます。小野さんと町田はガスでお湯を沸かします。お湯はそれぞれのカップラーメンに使われました。この日はとても暖かくて（暑いくらい）お湯で何かを飲むというより、津村さんが分けてくれたみかんがおいしい。それくらい暖かいためでしょうか、せっかくの山頂からの展望はかすんでしまい、美しく見える富士山がありません。

昼食を済ませて、記念撮影をして、田野倉駅方面へ下りようとすると、こちらからもハイカーが続々上がって来ます。しかも、女性ばかり。最後にその集団のリーダーと思われる男性に「よくこれだけ女性を集めましたね」と小野さん。「そうですね（笑）」





栗拾いにみんな夢中

山頂で昼食をというハイカーにたくさんすれちがうと思うとそうでもなく、それどころかほとんど出会わないから不思議です。

また、山頂にいた多くのハイカーと抜きつ抜かれつしながら思うとこれまたそうでもないのです。いつものように、自分たちが下っているほうから上の方が大変かどうか考えながら下ります。答なんかないのですが、最初の計画通り、初狩駅に戻るコースをとらなかったのは正解でした。



というのは、下り始めて15分ほどで、山栗拾いが始まったからです。栗はここを通るハイカーや、もしかしたら冬眠前の熊とかリス(本当かなあ?)に採られているのですが、まだ実が入っているものもあります。拾い始めたら最後、ハマります。そして、私たちはハマりました。下りながら栗をみつけるのとあたりを探します。馬頭観音までそんな状態が続きました。



本当にやってる、携帯で写メール

馬頭観音からは、杉林となり、上り始めたころのような茶色のうっそうとした景色となりました。今までの栗拾いのんびりモードとは違って、みんな足早に歩いています。そして、再び緑が多くなると栗が落ちています。でも、ここはハイキングの終わりの場所でした。それでも、秋の味覚を求めてという感じで、栗拾い！そんな中、津村さんは携帯電話でご主人の写真を

撮って息子さんに送るというITぶり。そもそもは、夫婦で100キロも走る大会に参加するようになったものの、どうしても離れてしまう。そんな時、お互いの位置がわかるようにと息子さんからプレゼントされたそうです。それなら、今ふたりでどこで遊んでいるのか送らなくちゃネ！



駅までの道すがら、気になるのは栗！今までの小さな山栗ではないりっぱな栗が“採ってもいいよ”みたいに実をつけています。“拾えば？”みたいに落ちているヤツもあります。でも川の中。拾いに行きそうな津村明彦さんを奥さんがたしなめます。柿を見ると採って食べてみたくなります。“先がとがっているから渋柿だよ”とあきらめます。その代わりに途中で缶ビールを飲んで、田野倉駅に到着。13時41分の電車で帰路に就きました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
桜井利子	194-0001	東京都町田市つくし野 1-32-17 042-796-9591
津村明彦	243-0401	神奈川県海老名市東柏ヶ谷 5-10-32-301 046-236-0253
津村美穂子	243-0401	神奈川県海老名市東柏ヶ谷 5-10-32-301 046-236-0253

